

【専門教育科目/看護の展開/在宅看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
在宅看護学概論		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
渡邊美樹	303	m>watanabe	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、在宅看護の概念と対象者・活動の場・活動方法の特徴、在宅看護を取り巻く保健医療福祉資源とそのシステムについて学習する。さらに在宅看護の対象者でもある家族の定義や特徴・発達過程、家族を対象とした看護の意義と目的を理解し、家族構成員の様々な健康レベルによるヘルスニーズと家族の問題によって発生する在宅看護上の問題を理解し、家族を含めた援助の方法・技術を学習する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	地域在宅において人々の健康を支援する看護への期待が高まっている。自分の周りの人々の暮らしや日常生活に関心を持ち、想像力をもって授業に取り組んでほしい。				
教科書	ナースィング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア/編:臺由桂他/メディカ出版/2022 ナースィング・グラフィカ地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術/編:臺由桂他/メディカ出版/2022 [2冊指定]				
参考書	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論/著:河原加代子/医学書院/2017				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	在宅看護に興味を持ち、主体的に学習に取り組むことができる		NS(1)、(5)		
②	在宅看護の目的や関連する概念について説明できる		NS(1)		
③	在宅看護の対象者の特性とその支援の基本を説明できる		NS(2)～(4)		
④	家族を対象とした看護の意義や目的を説明できる		NS(1)～(4)		
⑤	在宅ケアを支えるための社会資源や地域包括ケアシステムを説明できる		NS(2)～(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	在宅看護の概念①社会背景と目的について学ぶ	講義	在宅看護の意義を再度教科書で確認する	4	
2	在宅看護の概念② 基本理念について学ぶ	講義	授業で紹介した基本理念を復習する	4	
3	在宅看護の対象者について学ぶ	講義	在宅看護の対象者の特徴をまとめる	4	
4	在宅看護の活動の特徴について学ぶ	講義	在宅看護の活動の特徴をまとめる	4	
5	家族を対象とした看護① 家族の理解・基本理念について学ぶ	講義	授業で紹介した基本理念を復習する	4	
6	家族を対象とした看護② 家族を看護するプロセスについて学ぶ	講義	授業での学びをまとめる	4	
7	家族を対象とした看護③ 家族への支援演習	講義・GW	授業で提示される事例課題に取り組む	4	
8	家族を対象とした看護④ 家族への支援演習	講義・GW	授業で提示される事例課題に取り組む	4	
9	在宅療養を支える制度 様々な療養者と家族を支える制度を学ぶ	講義	授業での学びをまとめる	4	
10	在宅療養を支える制度 訪問看護制度を学ぶ	講義	授業での学びをまとめる	4	
11	地域包括ケアシステムの概要を学ぶ	講義	地域包括ケアシステムについてまとめる	4	
12	多様な生活の場における看護を学ぶ	講義	多様な場で活動する看護をまとめる	4	
13	多職種で支える在宅療養者とその家族への援助を学ぶ	講義	多職種連携の意義をまとめる	4	
14	在宅看護における安全と健康危機管理について学ぶ	講義	授業での学びをまとめる	4	

【専門教育科目/看護の展開/在宅看護学】

15	在宅看護の今後の動向 まとめ	講義	授業での学びをまとめる			4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	10	10	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	5	0	0	0	5
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		0	5	0	0	0	5
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	筆記試験とする。試験の範囲は講義全体を対象とし、授業内で学習した知識の理解を確認する内容とする。				試験後に試験問題と解答についてコメントする
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	各回の授業における学びを小レポートにまとめて提出する。学習目標に照らして何を学んだのか、もっと学びたい内容を明確にしてまとめる。				コメントを入れて次回の授業で返却する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①	✓	家族を対象とした看護の事例演習を行い、成果を発表する。学生同士で講評を行い、学びの共有を行う。				成果発表について講評を行う
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①	✓	全日程の出席を前提とする。理由のない欠席は授業への取り組み姿勢・意欲の不足と捉え、評価に影響する。授業内では主体的に学びレポートは指示された期間内に提出すること。				欠席が続く、提出物が遅れるなどが生じた場合は個別に指導を行う
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他担当教員							
教員の実務経験	担当教員は、病院の看護師として2年、行政保健師として8年、訪問看護師として2年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	看護師や保健師としての経験を基に、地域在宅で生活されている療養者やその家族等の具体的な事例を交えながら講義を進め、実践をイメージしながら知識と技術の修得を目指す。						
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の私語、他学生の迷惑になる行動は禁止します。教員に質問がある場合は、手を挙げて意思表示し質問すること。</li> <li>大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。</li> <li>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が生じる可能性がある。</li> </ul>						